

# 意見書

教 科
算数

種 目
算数

発 行 者
東京書籍

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)  ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単位時間ごとに対話で締め括るまとめが例示されたり、単元末の問題には、単元の学習で大切にしたい数学的な見方・考え方を問う問題を位置付けたりして、それらの力を伸ばす工夫がされている。(3年上「ぼうグラフと表」学習のしあげ(いかしてみよう))</li> <li>・「今日の深い学び」と称し、本時の問題に入る前に既習学習のまとめ、問題提示後も多様な考えが提示され、自分の考えとの共通点を見付けたりキャラクターの誤答から考えたりする場面があるなど、多様な考えに触れる学習過程に大変な工夫が見られる。(6年「円の面積」色を塗った部分の面積の求め方)</li> </ul>
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生でテープ図と数直線を並べて表記し、4、5年生で2本の数直線図とテープ図、その後5年生の上で2本の数直線へと移行している指導過程がわかりやすく丁寧である。</li> </ul>
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入は、既習の内容を振り返り、本単元での学習を見通す問いかけで始まる。追究する見通しとして、場面の挿絵やキャラクターによるヒントがあり、大変取り組みやすい。(6年「円の面積」)</li> <li>・考えの追究では、主に2通りの考え方を話し合っって説明する構成になっており学習過程の工夫がある。(6年「円の面積」)</li> <li>・単元末に「算数の目」と称し、見方・考え方が整理され、確認しやすい。</li> <li>・「考える力をのばそう」と称し、図、表、式を使ったりして考える問題が設定されたコーナーがある。</li> </ul>
2 岐阜県教育振興基本計画 (平成31年3月策定)	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ますりんつうしん」では、昔の長さの単位として、里という単位を使っていたことが紹介され、山登りを体験したときに、教科書に載っている一里塚の写真に出会うことで学習を想起することができる。</li> </ul>
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玉図を使った位の表上で自分の考えをタッチペンを使って思考できるようになっている。答え合わせも自分でできるようになっている。(3年「大きい数の筆算を考えよう」)</li> </ul>
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・似ている問題と少し難しい問題がマークで区別してあり、学習時に見通しとめあてをもつことができる。(3年補充問題)</li> </ul>
3 印刷・製本等	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年初期指導用の教科書が別冊になっている。A4版となっており、10までの数の理解のためのブロック操作がしやすいなど、入学したばかりの児童への指導を丁寧に行うことができる。</li> </ul>
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書体は、文字の視認性等に配慮し、独自に開発したユニバーサルデザイン教科書体を採用している。</li> <li>・色覚特性に適應するようカラーユニバーサルデザインを取り入れている。</li> </ul>
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生から巻末に索引があり、重要な算数の用語を検索できるようになっている。索引数も6年分で239と多く充実している。</li> <li>・登場人物は、日本の男の子2名、女の子2名、キャラクター1体(ますりん)となっている。</li> </ul>

# 意見書

教 科
算数

種 目
算数

発 行 者
大日本図書

調査項目	意 見
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)  ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか	(1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・冒頭に、算数の大切な考え方と称して、「いつも使う考え方」と「問題ごとに使い分ける考え方(ひらめきアイテム)」を位置付け、単元ごとに働かせた数学的な見方・考え方の足跡を残していく構成は、資質能力の育成に大変有効である。</li> <li>・「判断の根拠を問う」「仲間の考えを解釈し説明する」構成が多く、背景にある「概念」や「性質」の理解する上で、大変有効である。</li> <li>・思考力・判断力・表現力をねらう単位時間において、共通点に着目させる問いが位置付いており、統合的に考察する力を育むのに大変有効である。</li> <li>・毎単元末の確認問題に、数学的な見方・考え方を働かせる問題を明確に設定している。</li> </ul>
	(2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生からテープ図・数直線図を導入し、4年生から2本の数直線図に移行している。6年生の分数の乗除まで一貫して扱っており、指導の系統性がとれている。</li> </ul>
	(3) <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入時に扱われている日常場面のイラストや写真の中に、単元で働かせたい数学的な見方の手立てとなる意図ある工夫が随所にある。</li> <li>・自己の考えをもった上で、次ページに登場人物が他者の考えを説明する構成が多く、解法をより洗練させていく協働的な学習を促す上で、とても有効である。</li> </ul>
2 岐阜県教育振興 基本計画 (平成 31 年 3 月策定)	(1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜県のを全学年にわたって題材にしている。(1年:「こども110番の家」3年:「morinos (モリノス)」, 6年:「美濃和紙の里会館, 杉原千畝記念館」など)</li> </ul>
	(2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・図形領域では、動的に見ることが有効な場面では、図が動くアニメーションのコンテンツが用意され、立体を構成する要素に着目する手立てとして、大変有効である。(5年生)コンテンツ数が多い。</li> </ul>
	(3) <ul style="list-style-type: none"> <li>・発展問題や日常へ活用する問題、数学のトピックスなどが多く記載されている。(計71ページ)</li> </ul>
3 印刷・製本等	(1) <ul style="list-style-type: none"> <li>・2～6年生は、合冊となっている。</li> <li>・1年生は、分冊(A4判 中綴じ製本の1巻を新設)。幼保小の接続を円滑に進めるにあたって、大変有効である。</li> </ul>
	(2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・書体は、読みやすさ等に配慮し、ユニバーサルデザインフォントを採用している。</li> <li>・色覚の特性によらず情報が読み取れるよう、カラーユニバーサルデザインを踏まえている。</li> </ul>
	(3) <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生から巻末に索引があり、重要な算数の用語を検索できるようになっている。索引数も6年分で182となっている。</li> <li>・多種多様なキャラクター設定となっている。(日本男女各2名(1名ずつ眼鏡), 外国男女各1名南米系と欧米系, キャラクター2体ラビちゃん, ふくろう先生)</li> </ul>

# 意見書

教 科
算数

種 目
算数

発 行 者
学校図書

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)  ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4年生の除法の筆算の学習では、色紙を分ける場面に即した計算の考え方と筆算の仕方が並列で表現されており、計算の仕方と筆算の仕方をつながりが大変分かりやすい。</li> <li>・ 算数で大切にしたい9つの見方・考え方を9体のキャラクター「考え方モンスター」として、教科書の至るところに位置付けている。単元末には、単元で身に付けた見方・考え方を振り返るページがある。また、巻頭には、前年度で身に着けた見方・考え方が領域ごとにまとめられている。見方・考え方の視点で学びを進め、学びをつなげていこうとする意図が強く感じられる。</li> </ul>
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2年生でテープ図、3年生でテープ図数直線と線分図、2本数直線図(数の大きさは量)が導入されている。4年生にテープ図数直線(数の大きさは位置)と4マス関係表、5年生に2本数直線図が導入され、大変丁寧である。</li> <li>・ 3年生以上は、「図や表を使って問題を考えよう」のコーナーが見開き1ページずつあり、図や表の表し方を振り返ることができ、大変分かりやすい。</li> </ul>
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5年生の「倍数と公倍数」の学習では、「パチンゲーム」というゲームを教材とするなど、興味関心を引き付ける工夫が見られる。</li> </ul>
2 岐阜県教育振興 基本計画 (平成 31 年 3 月策定)	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身の回りの対称な図形として、47都道府県のマークを取り上げており、そこから、市区町村のマークがどうなっているかを促す問いかけが位置付けている。自分たちの市町の特徴、込められた願い等学習を発展させることができる。</li> </ul>
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2年生の「はこの形」の学習では、図形を並べてそれが正しく箱の形に組み立てられるかを、実物がなくともICTでシミュレーションできるなど、必要に応じてICTを利用することができる。</li> </ul>
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「もっと算数」(補充問題)が充実している。また、その中には、発展的な問題も位置付けている。どちらも解答があり、自分で確認できるようになっている。</li> </ul>
3 印刷・製本等	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6年生のみ合冊。1～5年生までは上下巻に分かれている。</li> <li>・ 6年生は、別冊「中学校へのかけ橋」がある。中学校への発展的な内容も取り扱い、小中の連携を図ることができる。</li> </ul>
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用している。誰にでも見やすくわかりやすい教科書になるよう、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトなどに配慮して編集している。</li> </ul>
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2年生から巻末に索引があり、重要な算数の用語を検索できるようになっている。索引数も6年分で256と多く充実している。</li> <li>・ 教科書に出てくる登場人物は4名(男子2名、女子2名)。すべて日本人で、男の子1名眼鏡をかけている。そのほかにもキャラクターが10体出てくる。</li> </ul>

# 意見書

教 科
算数

種 目
算数

発 行 者
教育出版

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)  ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元末の「学んだことを使おう」では、学習したことを使って話し合う学習過程が位置付き、単元で大切にしたい数学的な見方・考え方を伸ばす工夫がされている。(3年上「表とぼうグラフ」学習のしあげ)</li> <li>・面積を求めるために提示された問題は作図がなくても思考しやすい問題である。図を見て式を立てたり、式から図を使って説明させたりする学習過程が工夫されている。(6年「円の面積」色を塗った部分の面積の求め方)</li> </ul>
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生でテープ図と数直線を並べて表記し、3年上の巻末以降は、2本の数直線へと移行している。</li> </ul>
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入では、四角と円の2種類のピザの面積を比べるという興味・関心がもてる工夫がされている。考えの追究思考の見通しとして、キャラクターによる対話のヒントがある。</li> <li>・単元末に「算数ワールド」と称し、単元で働かせた見方・考え方を使得問題で解くコーナーがある。導入と同じピザの問題で、大きなピザ1つと小さなピザ4つの面積を比べる興味・関心がもてる問題となっている。(6年「円の面積」)</li> <li>・単元前半で見出した数学的な見方・考え方を「つながるミカタ」と称して位置付け、後半の学習で活用していく構成になっている。</li> </ul>
2 岐阜県教育振興 基本計画 (平成 31 年 3 月策定)	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対称な図形の学習での名所・名物やおよその面積で縮図を取り上げることで、身の回りにおける対称な図形やふるさとのおよその面積を調べる学習に発展させることができる。</li> </ul>
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のまとめにデジタルコンテンツがあり、振り返りをする動画がある。表紙でも興味関心を持てるような動画を視聴できる。</li> <li>・全学年にプログラミング教育が位置づいている。</li> </ul>
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末には補充の問題として、「基本の問題」と「ジャンプの問題」があり、自分の学習の進み具合に合わせて取り組むことができる。(3年「ステップアップ算数」)</li> <li>・巻末には、広がる算数と称し、身の回りの算数に興味を持たせるコーナーがある。</li> </ul>
3 印刷・製本等	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1, 5, 6年生は合冊。(上、下に分かれていない。)</li> </ul>
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書体は、読みやすさ等に配慮し、ユニバーサルデザイン教科書体を採用している。</li> <li>・色覚の個人差等に配慮し、カラーユニバーサルデザインを取り入れている。</li> </ul>
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生から巻末に索引があり、重要な算数の用語を検索できるようになっている。索引数は6年分で303と多く充実している。</li> <li>・登場人物は日本の男の子3名(うち1名眼鏡をしている)、女の子3名で、キャラクターは2体登場する。</li> </ul>

# 意見書

教 科
算数

種 目
算数

発 行 者
啓林館

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)  ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に、前学年の内容の復習とともに「算数で使いたい考えの進め方」として、図・類推・統合・演繹・帰納・発展の具体的な例示を記載している。</li> <li>・単元の始めに既習内容を想起させる二次元コードや巻末の「じゅんぴ」が設定されるとともに、単元末の「学びのまとめ」や巻末の「もっと練習」など多くの問題に取り組むことができ、習熟に合わせた学習内容を定着させるための工夫がある。</li> </ul>
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4年生からテープ図・数直線図と4マス関係表を導入している。5年生で2本の数直線図とテープ図を関連させながら、2本の数直線図に移行している。</li> </ul>
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の追究を手助けする登場人物のつぶやきの中で、特に価値づけたい数学的な見方・考え方にはマーカーが付いており、統合的・発展的に考えられる手立てとしている。</li> </ul>
2 岐阜県教育振興 基本計画 (平成 31 年 3 月策定)	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びをいかそう「さがしてみよう」を位置付け、図形領域などの問題を発展的に捉え、身近な生活に繋げるための工夫がされている。</li> </ul>
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各問題の間1に対して、二次元コードを読み取ると、個人のペースで学習できるよう解説がついており、理解を深める上で有効である。</li> </ul>
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発展問題や日常へ活用する問題、数学のトピックスなどが、単元の途中や単元末等にバランスよく記載されている。</li> <li>・単元始めの準備の問題や巻末の学年の復習問題の設定により、新しい単元や次学年への円滑な接続に向けての工夫がされている。</li> </ul>
3 印刷・製本等	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1～4年生は、分冊となっている。</li> <li>・1年生の分冊(A4判 中綴じ製本の1)は、幼保小の接続を円滑に進めるにあたって、大変有効である。</li> </ul>
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見やすいユニバーサルデザインフォントを採用している。誰にでも見やすくわかりやすい教科書になるよう、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトなどに配慮して編集している。</li> </ul>
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生から巻末に索引があり、重要な算数の用語を検索できるようになっている。索引数も6年分で252と多く充実している。</li> <li>・多種多様な登場人物(日本男の子3名(1名:眼鏡, 1名:車イス), 日本女の子3名(1名:眼鏡), 外国男の子1名(欧米系), 外国女の子1名(南米系),)が出てくる。キャラクターは1体(えんぴつくん)。</li> </ul>

# 意見書

教 科
算数

種 目
算数

発 行 者
日本文教出版

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)  ・何ができるようになるか ・何を学ぶか ・どのように学ぶか	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 時間における「めあて」とそれに対する「まとめ」が確実に位置付けていることで、何を学ぶかが明確になっており、算数が専門でない教員でも授業の組み立てが行いやすい。</li> <li>・ 算数で使いたい見方・考え方を 10 あげている。それぞれ簡潔な言葉で表現してある。それらの多くは「めあて」の近くに位置付け、考え方のサポートとなるよう工夫されている。</li> </ul>
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 年生でテープ図、3 年生でテープ図数直線 (数の大きさは量) が導入されている。4 年生にテープ図数直線 (数の大きさは位置)、5 年生に 2 本数直線図 (数の大きさは位置) が導入される。</li> <li>・ 4 年生以上には、巻末に、「よみとろう あらわそう」が見開き 1 ページであり、該当学年で導入した図の表し方と、図の見方をまとめたページがあり確認することができる。</li> </ul>
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多くの問題に対して、キャラクターの考え方が複数位置付けられている。その際に、そのキャラクターが考え方について端的に説明しており、それをもとに、対話的な学習につなげることができる。</li> </ul>
2 岐阜県教育振興 基本計画 (平成 31 年 3 月策定)	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身の回りの対称な図形として、都道府県のマークを取り上げている。身の回りのマークを見つける活動から、自分たちの市町村のマークの特徴、込められた願い等学習を発展させることができる。</li> </ul>
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次の単元に進む前に既習内容の確認のページがあり、QRコードを読み取ることで、答えだけでなく、ヒントが表示されるようになっている。主体的な学びにつながると思う。</li> <li>・ 計算の問題には、QRコードがついており、それを読み取ることで類題に取り組めるようになっている。自分で答え合わせもできる。</li> </ul>
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 巻末の算数マイトライ (補充問題) が大変充実している。基本的、発展的、探究的な 3 つのコースが設定してあり、分量も多く、個別最適な学びにつながると思う。</li> </ul>
3 印刷・製本等	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5・6 年生は合冊。1～4 年までは 2 巻に分かれている。ただし、1 年は、初期指導を意識して最初の巻の方が量が少なくなっている。</li> <li>・ 5・6 年生には、しおりの紐がついている。</li> </ul>
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用している。図形やグラフ等、紙面の情報がすべての子どもに正しく伝わるよう、カラーユニバーサルデザインに配慮している。</li> </ul>
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 年生から巻末に索引があり、重要な算数の用語を検索できるようになっている。索引数も 6 年分で 224 と充実している。</li> <li>・ 教科書に出てくる登場人物は 6 名 (男子 3 名、女子 3 名)。すべて日本人で、男女とも 1 名眼鏡をかけている。そのほかにもキャラクターが 1 体 (クリン) 出てくる。</li> </ul>